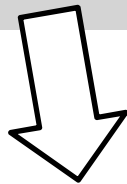
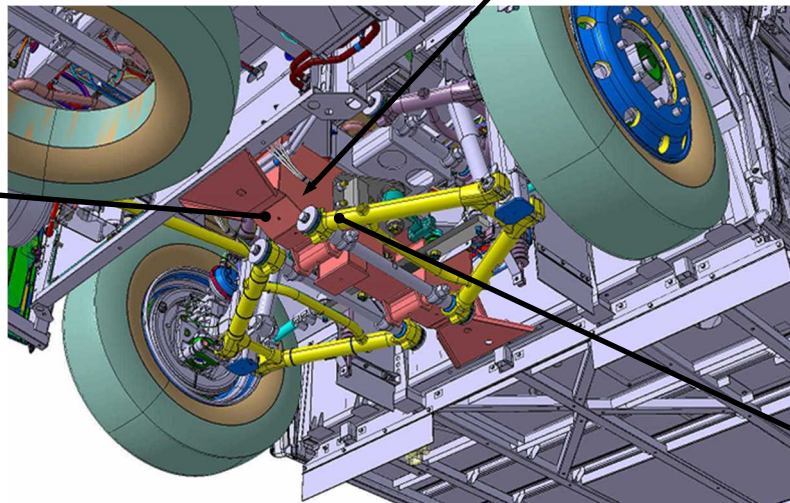


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所



センターメンバー

ロアアーム

前輪独立懸架方式の大・中型バスにおいて、センターメンバーの製造が不適切なため、センターメンバー内部に融雪剤等を含んだ水が浸入し、ロアアーム取付部付近が腐食することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、腐食が進行し、センターメンバーが破損して、最悪の場合、ロアアームが脱落して操舵不能となるおそれがある。

改善措置の内容

使用者に、センターメンバー内部を定期的にシングルワックスで防錆措置する旨を記載したメンテナンスノートの追補版を配布すると共に、下記の措置を実施する。

- ① 暫定措置で改良品のセンターメンバーに交換せずにシングルワックスによる防錆措置を実施した車両は、ダブルワックスによる防錆措置を実施する。それ以外の暫定措置実施車両は、暫定措置を恒久措置とする。
- ② 暫定措置を実施していない車両は、センターメンバーに内部点検用の穴を開け、内視鏡を用いて内部腐食状況の点検を行い、
 - (1) 著しい腐食が認められた場合は、改良品のセンターメンバーに交換する。
 - (2) 著しい腐食が認められなかった場合は、ダブルワックスによる防錆措置を実施する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB191」の文字が記載された白黄色のシールを貼り付ける。